



2019年環境レポート



新田ゼラチン株式会社

ごあいさつ

当社は昨年4月18日創業100年を迎え、次の100年に向け新たな1歩を踏み出しました。

コラーゲン事業の主力製品であるゼラチン、コラーゲンペプチドの製造には多量の水資源・エネルギーを必要とするため、従来から省資源・省エネには積極的かつ継続的に取り組んでまいりました。

その結果、昨年度の本社・大阪工場のエネルギー使用量は前年度比2.9%減少し、CO₂排出量も同3.2%減少しました。

従来は本社・大阪工場の従業員と周辺地域を主な対象とする環境基本方針を掲げ、環境活動を行ってまいりましたが、今年度より海外拠点とも連携しEHS（Environment/Health/Safety）に基づいたグループ全体の安全・環境方針を新たに設定し、従来の環境方針との統一化を図りました。

今後は新しい基本方針に基づき、社会、地域とグループ全体で働く人々のために、環境・健康・安全に配慮した事業活動を行い、持続的発展可能な社会の実現に貢献してまいります。

2019年 5月 29日

取締役執行役員 環境管理担当

長岡 令文

環境方針

安全・環境方針

私たちは、社会、地域そして当社グループで働く全ての人々のために、環境、健康、安全に配慮した事業活動を行い、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

- 関連する諸法令を順守し、環境の保全、健康・安全の確保に取り組めます
- 事業活動が、環境、健康、安全に及ぼす影響を評価し、目標を定めて改善に取り組めます
- 当社グループで働く全ての人々に、安全・環境方針の周知徹底を行い、意識の向上に取り組めます

2019年 5月 1日

推進体制

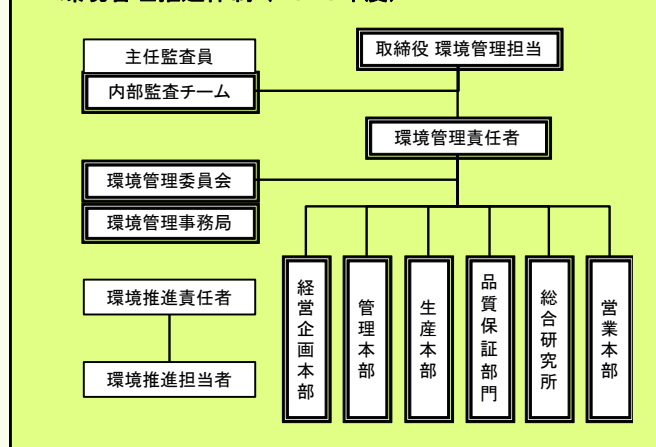
本社・大阪工場では、経営層（取締役環境管理担当）、環境管理責任者、各部門長である環境推進責任者と主任監査員及び環境管理事務局から構成される「環境管理委員会」を四半期毎に開催しております。環境目標の進捗管理、環境マネジメントシステムの運用状況については、同委員会では報告・協議し、方針決定いたします。

毎月各部署で収集される環境パフォーマンスは環境管理事務局で集約管理し、必要に応じて環境管理責任者が対応策を検討いたします。

マネジメントシステム全体の監視は内部監査チームが行っておりますが、構成監査員は適宜新しい要員と交代し、新たな視点と広い視野をもって取り組むよう努めております。

（ISO14001は1999年12月に認証登録され、2017年4月より2015年版へ移行しております）

環境管理推進体制（2019年度）



環境への取り組み

本社・大阪工場は、多くのエネルギー・水資源を使用するため、環境に大きな負荷を与えております。これらの負荷を軽減するため、当工場ではこれまで様々な取り組みを行ってまいりました。

1. 近年の主な取り組み

- 2010年 高効率型ボイラーへの更新（5か年計画－最終）
- 2012年 高効率型濃縮機導入による省エネ・CO₂削減
工場全体の節電対応（シフト生産、業務部門の省エネ対策）
ファックスのペーパーレス化によるコピー用紙削減
- 2013年 高効率型濃縮機の安定稼働
工場全体の省エネ活動推進
社内イントラネット導入による業務効率化、ペーパーレス化
- 2014年 コージェネ発電機排熱回収設備の導入
- 2015年 コージェネ発電機排熱回収設備の安定稼働
- 2016年 排水処理施設への負荷低減対策と大規模保全工事を実施
- 2017年 排水処理施設の改良を継続
冷温水機の第一期更新と運転最適化
工場全体の継続的省エネ（大型設備の効率運転、製造設備のインバータ化推進等）
- 2018年 新原料対応設備の設置完了
排水処理施設への負荷低減に伴う省エネ効果確認
コージェネ発電機更新及び排熱回収設備の移設
冷温水機の第二期更新



コージェネ発電機（2018年12月）

2. 2019年度の取り組み

- ・新原料対応設備の設置に伴うエネルギー原単位の安定的向上
- ・排水処理施設への負荷低減対策の安定化実施と省エネ効果の確認
- ・工場全体の継続的省エネ推進
（工場のデマンド管理、昼間休憩時間内の不要な空調・照明の停止、クールビズ・ウォームビズの励行等）
- ・社内イントラネット活用による業務効率化の推進
- ・地域清掃の実施（5月、12月）
- ・工場周辺パトロールの実施（6月、10月、12月、3月）

3. 継続的な取り組み

- ・製造工程の効率化によりエネルギー効率を向上
- ・工場の緑化
- ・工場周辺パトロール（年4回）と地域清掃（年2回）実施による環境美化活動
- ・小学校社会科工場見学の受け入れ（近隣15校）
- ・照明の省電力化
- ・人感センサーによる照明自動消灯設備の設置
- ・紙包材の紙資源化、熱資源化
- ・フレコンバッグの再利用
- ・廃油の有価リサイクル化

2018年度 環境活動実績 (2018年4月1日～2019年3月31日)

本社・大阪工場では、年間計画に基づいて環境活動を推進し、目標達成を目指しております。

エネルギーは、上期は生産品目や原料種の変化によりエネルギー使用量が一時的に増えましたが、コージェネ発電機を下期に更新し本格稼働してからはエネルギー効率が大幅にアップし、原単位は前年度より減少しました。

CO₂ 排出量についても同様に、前年度より減少し目標達成しました。

廃棄物については、環境負荷の大きい埋立廃棄物の排出を抑制した結果、排出量目標をクリアしております。

廃棄物リサイクル率については、これまで通り100%近い状態を維持できております。

水資源については、製品品質を維持した中で取水量の削減や再利用に取り組んでおり、目標を達成しました。

紙資源については、社内IT化を進めて出来るだけコピー用紙使用量を減らすよう運用しており、2018年度は前年より減少し、過去5年平均で見ても安定した使用量で推移しています。

その他法順守、化学物質管理、工場周辺環境整備等についても適切に対応しております。

環境目標	環境テーマ	実績	評価
環境法規制順守	環境法規制に基づく運用管理の徹底	予定通り実施	○
	是正措置の実施	異常なし	○
	環境影響の予測	新規導入・更新設備のアセスメントを2件実施	○
省エネルギーの推進	製造エネルギー原単位の削減(前年度実績未達)	目標達成(目標比△3.9%)	○
CO ₂ 排出量削減	大阪工場全体のCO ₂ 排出量削減(省エネ設備導入後水準維持)	目標達成(目標比△5.4%)	○
廃棄物の削減	埋立廃棄物の削減(5t以下)	排出量 4.0tで目標達成	○
廃棄物の適正処分	廃棄物リサイクル化の維持・管理	廃棄物リサイクル率 99.8%	○
水資源の削減	排水の排出量抑制(900,000t未達)	目標達成(目標比△5.0%)	○
紙資源の削減	コピー用紙の使用量の削減(前年実績未達)	目標達成(目標比△9.1%)	○
化学物質の適正管理	化学物質の適正管理	適切に管理されている	○
環境教育の推進	一般啓蒙教育の推進(都度)	予定通り実施	○
	啓蒙活動の推進(2回/年)	予定通り実施	○
	指定業務教育の推進(都度)	予定通り実施	○
	内部監査員教育の推進(1回/年)	予定通り実施	○
工場周辺の環境整備	地域清掃の実施(2回)	予定通り実施	○
	工場パトロールの実施(4回)	予定通り実施	○

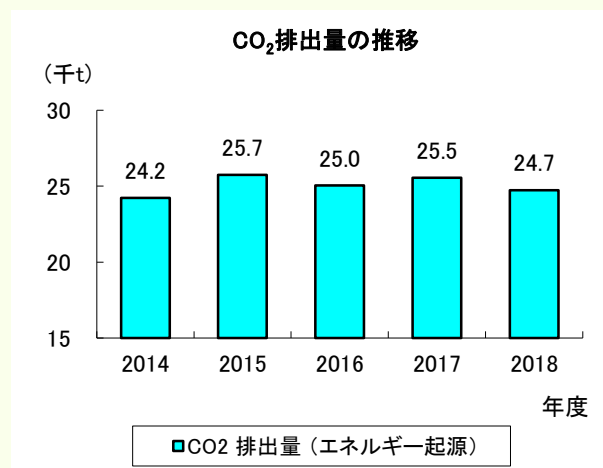
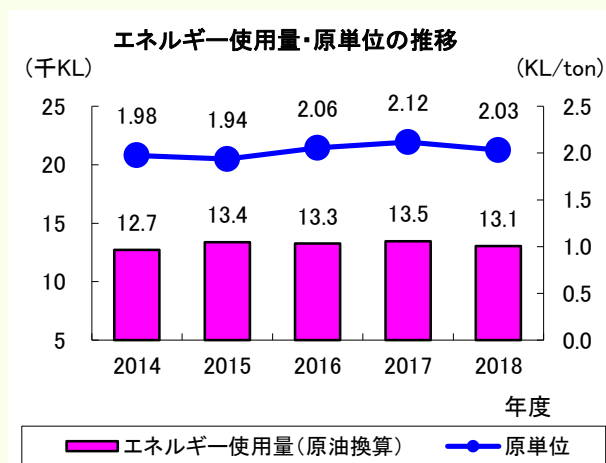
○：目標達成
 △：前年実績は下回るが、目標は未達
 ×：前年実績・目標ともに未達

省エネ活動とCO₂削減への取り組み

製造部門では、冷温水機、ボイラーや発電機の更新により、エネルギー効率を高め、工程の改良に努めております。また業務部門でもOA機器や照明・空調などの省エネを推進しております。

2018年度は、下期に導入した新型コージェネ発電機稼動によるエネルギー効率アップにより、エネルギー使用量(原油換算)は前年度比2.9%減少し、原単位(製品1トンあたりのエネルギー使用量)も前年度比4.1%減少しました。

CO₂排出量(総量)についても同様の理由で、前年度比3.2%減少しました。

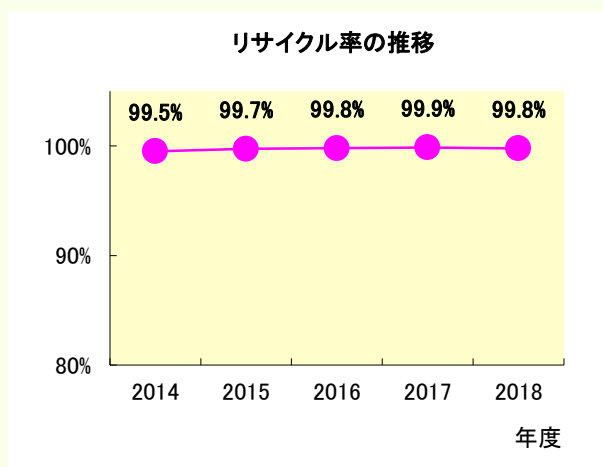
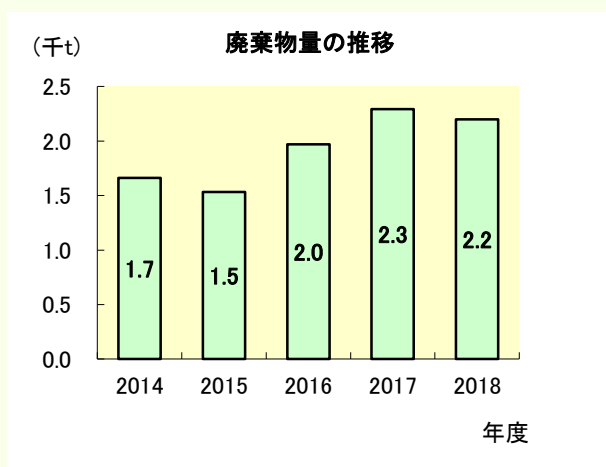


廃棄物管理

排水処理時間短縮を目的として2017年度に排水処理施設の大規模保全工事を行い排水処理前工程で回収困難であった汚泥も回収できる設備を導入しました。

そのため廃棄物量は、工事前の2014年度水準と比較すると32%増加しておりますが、前年度比では4.2%減少しております。

全廃棄物のリサイクル処理率(熱リサイクル含む)は99.8%で、100%近いレベルを維持できています。

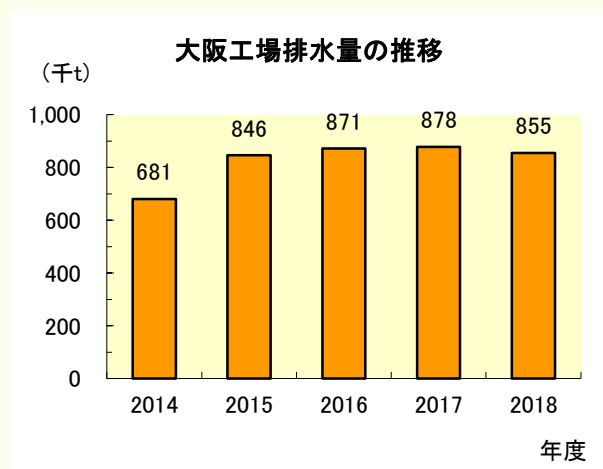


省資源活動

1. 水資源

近年、製品品質の維持・向上のために、工程設備の洗浄を強化しており、2018年度についても安定して推移しております。

引き続き、作業工程の見直し等により、製品品質を維持した中で取水量の削減や再利用に取り組んでまいります。

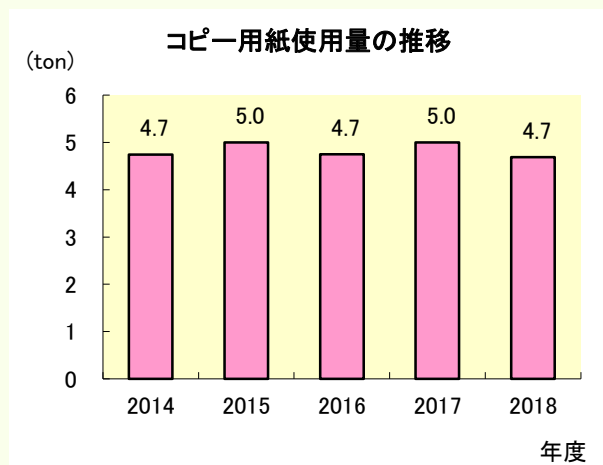


2. 紙資源

2018年度は、分社化の影響もありコピー用紙使用量は前年度比6.3%減少しました。

なお過去5年間の使用量で見ると概ね4.7~5.0tで推移しております。

2019年度も引き続き、社内IT化を推進し紙資源の削減に努めてまいります。



教育活動

本社・大阪工場で働く全ての従業員を対象に、新入社員教育、一般教育、推進担当者教育等を推進し、意識向上・啓蒙活動に努めております。

1. 環境セミナー

7月には、工場の全従業員対象の啓蒙活動を目的とした環境一般セミナーを実施しました。八尾市下水道課のご協力の元、市の下水道の仕組みについて勉強し、従業員の環境意識向上を図りました。



環境一般セミナー（2018年7月）

2. 社内報

社内報には、定期的に環境特集記事を掲載し、環境活動の重要性や社内での活動報告を行い、従業員の意識向上を図っています。現在は2015年版の規格説明を章毎に順次行っています。



社内報記事（2018年11月）

緊急事態対応

1. 消防訓練・防災訓練

八尾市消防署の指導の下、10月に消防訓練、11月に防災訓練を行いました。

消防訓練では避難訓練と消火水槽を使った放水訓練を行い、防災訓練では安否確認を重視した訓練と地震避難訓練を行いました。



消防訓練（2018年10月）

2. 緊急事態訓練

薬品漏洩等の事故・緊急事態を想定した模擬訓練を2月に実施しました。

訓練では屋外タンクからの塩酸漏洩を想定し防護服着用の実地確認を行いました。また他部署からも多数の従業員が見学しました。



塩酸漏洩緊急事態訓練（2019年2月）

企業市民としての活動

社会貢献活動

地域の方々との様々な関わりの中で、皆様から信頼される良き企業市民として地域社会との共生に努めております。

1. 地域清掃・環境パトロール

近隣周辺は比較的きれいに清掃されていますが、必要に応じて放置された粗大ごみや、冬には路上に堆積した大量の落ち葉の回収を行っております。

地域清掃は6月(第34回)と12月(第35回)に実施し、延べ96名の従業員が参加しました。

また、四半期毎に環境パトロールを年4回実施し、周辺的环境美化に努めております。



工場周辺の地域清掃 (2018年12月)

2. 地域緑化・工場緑化

地域の緑化に貢献するため、継続的に敷地内に植樹をしております。毎年入社式の際には、新入社員による記念植樹を行っております。

また中庭等構内には季節の花が咲き、来社されるお客様や見学者の心を和ませております。



記念植樹の様子 (2018年4月)

3. グラウンド一般利用

グラウンドを開放し、年間を通して少年サッカークラブの練習にご利用いただき、春には桜の花見をたくさんの方々に楽しんでいただいております。

今年の4月には、当社の特別協賛の元、「桜フォトログейニング in 八尾・柏原」が開催され、多数の愛好家に参加いただきました。



フォトログейニングの様子
(2019年4月 当社環境事務局撮影)

4. 工場見学

秋には、近隣小学校の社会科見学を積極的に受け入れております。2018年度は15校総勢1040名の児童・教職員の方々にお越しいただき、ゼラチンを使ったお菓子づくりやアーティストスティックスイミング(シンクロナイズドスイミング)の選手がゼラチンでどのように髪をセットしているのかを体験していただきました。



社会科見学の様子 (2018年12月)

2019年度 環境目標

2019年度の本社・大阪工場環境保全活動の目標は、2018年度の実績を基に見直し、具体的な行動展開につなげるべく新たな目標を設定して、推進してまいります。

なお従来環境目標に掲げていた「化学物質の適正管理」については、環境方針変更により今後は日常管理としたため環境目標項目から外しております。

環境目標	環境テーマ	目標値
環境法規制順守	環境法規制に基づく運用管理の徹底	法順守
	是正措置の実施	実施
	環境影響の予測	アセスメント実施
省エネルギーの推進	製造エネルギー原単位の抑制 (省エネ法への対応)	1.96kL/t 未満
CO ₂ 排出量抑制	大阪工場全体のCO ₂ 排出量抑制	25,000t 未満
廃棄物の削減	埋立廃棄物の排出量抑制	5t 以下
廃棄物の適正処分	廃棄物リサイクル化の維持・管理	99% 以上
水資源の削減	排水の排出量抑制	900,000t 未満
紙資源の削減	コピー用紙の使用量の削減	過去3年平均実績未満
環境教育の推進	一般啓蒙教育の実施	都度実施
	啓蒙活動の推進(教育・セミナーの実施)	3回/年
	指定業務教育の実施	都度実施
	内部監査員教育の実施	1回/年
工場周辺の環境整備	地域清掃の実施	2回/年
	環境パトロールの実施	4回/年

発行元 : 新田ゼラチン株式会社 本社・大阪工場
発行責任者 : 環境管理責任者 吉村 充浩
発行日 : 2019年 6月 1日
お問合せ先 : 管理本部 工場管理センター(小田)
住所 : 〒581-0024
大阪府八尾市二俣2-22
電話 : 072-948-7190(直)
FAX : 072-949-8087

表紙写真 : 本社・大阪工場 事務所棟前 花壇
撮影年月 : 2019年4月